

監査報告書

組合名 三池炭鉱労働組合
会計年度 自昭和四十二年四月一日
至昭和四十三年三月三十一日

組合長 宮川 睦男 殿

昭和四十三年五月十七日提出

事務所名 杉原公認会計士事務所

所在地 福岡市舞鶴二丁目一番五号

電話(七四)二八〇〇番

監査人 西南学院大学教授
経済学博士 杉原 実 殿
公認会計士

監査証明書

私は労働組合法第百七条の規定するところにしたがい、貴労働組合規約に定められた職業的資格のある会計監査人として会計監査を実施しましたところ、すべての財産および使途、ならびに現在の経理状況を示す表記会計年度の、会計報告書は正確であることを認めましたので報告します

監査経過

私は昭和四十三年五月二日貴組合より会計監査の依頼を受け、昭和四十三年五月九日より五月十一日まで三日間、会計監査を実施しました。あらゆる書類が完備してまいりましたので、迅速に監査を行なうことができました。

監査資料明細

組合本部
【諸表】経常費、身分補償、事業部、各勘定昭和四十三年三月末試算表
【証ひょう及び伝票】各勘定、自昭和四十三年四月一日至昭和四十三年三月三十一日

【帳簿】金銭出納簿、銀行勘定帳、明細簿、元帳
【預金通帳】福岡労働大牟田支店NO.〇・一〇一、福岡労働大牟田支店NO.〇・四二〇、〇・四二一、〇・四二二、〇・四二三、〇・四二四、〇・四二五、〇・四二六、〇・四二七、〇・四二八、熊本労働大牟田支店NO.〇・二五六、熊本労働大牟田支店NO.〇・四、六五四A、三井銀行大牟田支店NO.〇・H/一五二
【預金残高証明書】福岡労働大牟田支店一通、熊本労働大牟田支店一通、三井銀行大牟田支店一通

共済会会計

【諸表】昭和四十三年三月三十一日現在貸借対照表昭和四十三年三月末損益計算書昭和四十三年三月三十一日現在残高表(積立金、出資金、貸付金、特別貸付金)
【証ひょう及び伝票】自昭和四十三年四月一日、至昭和四十三年三月三十一日

【帳簿】金銭出納簿、銀行勘定帳、明細簿、元帳

【預金通帳】福岡労働大牟田支店NO.〇・一〇五、熊本労働大牟田支店NO.〇・三二一、三井銀行大牟田支店NO.〇・H/一五一
【残高証明書】福岡労働大牟田支店預金一通、熊本労働大牟田支店預金一通、三井銀行大牟田支店預金一通、熊本労働大牟田支店貸付金一通
宮浦支部

【諸表】支部費会計、昭和四十三年三月末決算表、図書館会計、昭和四十三年三月末決算表
【証ひょう及び伝票】自昭和四十三年四月一日、至昭和四十三年三月三十一日
【帳簿】支部費会計金銭出納簿、図書館会計金銭出納簿、元帳
【預金通帳】福岡労働大牟田支店NO.〇・一三一(支部費)、福岡労働大牟田支店NO.〇・一三二(図書館)
【残高証明書】福岡労働大牟田支店一通

四山支部
【諸表】支部雑収入会計、昭和四十三年三月末決算書
【証ひょう及び伝票】自昭和四十三年四月一日、至昭和四十三年三月三十一日
【帳簿】金銭出納簿、明細簿
【預金通帳】熊本労働大牟田支店NO.〇・四〇、熊本労働大牟田支店定期NO.〇・五、一八四
【残高証明書】熊本労働大牟田支店一通

三川支部
【諸表】支部会計、昭和四十三年三月末決算表、図書館会計、昭和四十三年三月末決算表
【証ひょう及び伝票】自昭和四十三年四月一日、至昭和四十三年三月三十一日
【帳簿】支部費会計、図書館会計
【預金通帳】福岡労働大牟田支店NO.〇・一五一(支部費)、福岡銀行三川支店NO.〇・一、八四五(図書館)、福岡銀行三川支店定期NO.〇・四一/二七二(図書館)
【残高証明書】福岡労働大牟田支店一通、福岡銀行三川支店一通
本所支部

【諸表】基金会計昭和四十三年三月末決算表、手数料会計昭和四十三年三月末決算表、支部費会計昭和四十三年三月末決算表
【証ひょう】自昭和四十三年四月一日、至昭和四十三年三月三十一日
【帳簿】基金会計、手数料会計、支部費会計
【預金通帳】福岡労働大牟田支店NO.〇・一四二(基金)、福岡労働大牟田支店NO.〇・一四二(手数料)、福岡労働大牟田支店NO.〇・一四五(支部費)
【残高証明書】福岡労働大牟田支店一通

港務支部

【諸表】支部費会計、昭和四十三年三月末決算表
【証ひょう】自昭和四十三年四月一日、至昭和四十三年三月三十一日
【帳簿】金銭出納簿、明細簿
【預金通帳】福岡労働大牟田支店NO.〇・一六一、福岡労働大牟田支店NO.〇・五/五
【残高証明書】福岡労働大牟田支店一通
監査人の意見
特別にありません。

予算編成について

財務長 墨田 大代

昭和四十三年度予算編成は、組合改選期日などの関係もあって、時期が相当おくれれましたが、総会決定までの措置として昭和四十二年度予算の範囲内で執行することで中央委員会の承認をえりました。

その間昭和四十三年度の闘いの方針、第四次合理化反対闘争、CO遺族を守る闘いに即応する指導体制の確立がなされましたので、その方針に基づいて予算編成をおこないました。

収入については健全財政とはいませんが、七〇年を目指す安保の闘いに備えて、また、石炭政策にもとづく合理化も一層激しさを加えると考えられます。

このような情勢のもとで今後の財政面を展望すると、組合費は予算支出の半分程度であり、不足分については、組合員の出資を要するものと見られます。

最近の物価の値上がりは著しく、私たちの実質賃金は日増しに低下しています。一方主婦の内職により、それを補てんしているという現実の全組合員の生計の上に立って、前年に増して予算の範囲内での予算執行に努力をいたします。すので、各級機関のご協力をお願いします。

昭和43年度経常費勘定予算(案)

科 目	月割予算	年間予算
収入		
繰越金	716,610	8,599,320
組合費子入	1,770,000	21,240,000
預金収入	15,000	180,000
雑収入	678,690	8,144,280
収入合計	3,180,300	38,163,600
支出		
役員給与	779,000	9,348,000
事務員給与	366,400	4,396,800
雑給	242,000	2,904,000
計	1,387,400	16,648,800
備品費	2,000	24,000
消耗品費	18,000	216,000
図書費	10,000	120,000
印刷費	204,000	2,448,000
通信費	60,000	720,000
計	294,000	3,528,000
委員会費	276,700	3,320,400
総会議費	7,200	86,400
計	333,900	4,006,800
出張旅費	88,300	1,059,600
共済費	35,000	420,000
組織対策費	285,500	3,426,000
負担対外費	443,100	5,317,200
法渉費	25,000	300,000
設備費	35,000	420,000
維持費	4,000	48,000
雑費	121,400	1,456,800
予備費	112,700	1,352,400
支 出 合 計	3,180,300	38,163,600